
生育温度 $5 \sim 20^{\circ} \mathrm{C}$ 播種量／ 1 a －



```
- 播種 ——生育期間 - 出荷期
```


## 栽培上のポイント

－花芽分化に低温が必要なので，生育前期は夜温 $3 \sim 5^{\circ} \mathrm{C}$ ，昼間 $15 \sim 20^{\circ} \mathrm{C}$ 程度で管理する （生育後期は夜温 $10^{\circ} \mathrm{C}$ に上げてもよい。夜温が高いと徒長し分けつが少なく草姿が乱れる。夜に $20^{\circ} \mathrm{C}$ の高温栽培は不可）。

- 9cnポットの苗出荷，4号鉢の鉢物出荷ともに1本植え。
- 矮化剤を使用する場合は，播種後50～60日と着蕾確認後の2回茎葉散布。
- 花壇では，草丈 $40 \mathrm{~cm} に な り$ 株が広がり，よく日の当たる所で咲き続ける。暖地では，越冬する。


コンパフトにまとまる大輪系品種。基部からの分枝に優れ，花数が多い。
草丈 12 cm 程度で咲き始め， 9 cm ポット出荷から 12 cm ポット出荷が適する。


